

## 原文

金融資本について、誤解するおそれのある表現である。

④産業資本と金融資本 産業資本とは、商品の生産のための資本のことで、銀行が融資する産業資本を金融資本という。産業資本を提供する銀行が工業会社の経営に大きな発言力をもつようになり、工業会社と銀行の一体化が進んだ。

(※関連修正 p.194 側注2, 本文16行目, p.195 側注3 本文10行目)

(意見番号34番の修正により側注1は文字数が増えたため、側注2は削除する これに伴い、側注3は側注2となる)

### ④市場の独占形態

- 1)カルテル 同一業種の複数企業が、相互の独立を維持しながら価格・生産量などを談合で決め、市場の独占をはかること。
- 2)トラスト 同一業種の複数企業が単一の巨大資本のもとに吸収・合併され、市場の独占が行われる。アメリカで発達した。
- 3)コンツェルン 異なる業種・企業が、単一の巨大資本のもとに支配され、市場の独占が行われる。ドイツと日本で発達した。

④企業の集中・独占

④社会進化論(社会ダーウィニズム)

④ダーウィン進化論の延長線上にあるもの

## 修正文

④産業資本と金融資本 産業革命がいち早くはじまったイギリスでは、企業は自社で蓄積した資本(産業資本)によってしだいに発展していくことも可能だったが、後発のアメリカやドイツなどでは、資本が十分でない段階でも、高価な機械などを導入せざるをえなかった。そのため銀行の融資が不可欠となり、企業と銀行が密接に結びついて、独占的な大企業や企業集団(金融資本)が生まれた。

(意見番号34番の修正により削除)

④企業の集中・独占

④社会進化論(社会ダーウィニズム)

④ダーウィン進化論の延長線上にあるもの